

目標の達成状況等の評価（自然環境整備計画（国立公園整備事業））

都道府県名	広島県		対象地域名	瀬戸内海国立公園			評価年度	令和 3 年度
事業実施期間	平成 27 年度	～令和 1 年度	事業費	254,053 千円		(うち国費 108,802 千円)		
事業の実施内容	<p>【大聖院獅子岩線道路（歩道）事業】 平成27年度 土舗装工、木柵工 平成28年度 土舗装工、木柵工、擁壁工 平成29年度 擁壁工</p> <p>【紅葉谷弥山線道路（歩道）事業】 平成28年度 測量設計一式 平成30年度 木柵工撤去、擁壁工、土舗装工、木柵工 令和元年度 木柵工撤去、擁壁工、水路工、排水工、土舗装工、階段工、木柵工</p> <p>【観音山登山道線道路（車道）事業】 平成30年度 敷地造成工、法面工、擁壁工</p> <p>【神峰山線道路（車道）事業】 平成28年度 アスファルト舗装工 平成29年度 アスファルト舗装工、ガードレール 平成30年度 アスファルト舗装工、ガードレール 令和元年度 アスファルト舗装工</p> <p>【青影山・奥山線道路（歩道）事業】 平成30年度 雨水排水設備工、路盤工、法面工</p> <p>【鳴滝山園地事業】 平成30年度 歩道復旧工</p> <p>【蛇の池園地事業】 平成30年度 法切工、法面工、水路工、土留工、転落防止柵工</p>			 <p>実施前</p>		 <p>実施後</p>		
				令和元年度 紅葉谷弥山線道路(歩道)事業				
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況		事業実施により、施設の利便性、安全性が向上したことで公園の魅力向上につながり、利用者の増加を図ることができた。					
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価
			単位		基準年度	目標年度	達成年度	
	その他の指標	瀬戸内海国立公園利用者	公園利用者数から推定	6,870,100	6,938,801	7,088,800	計画期間のすべての年度で目標値を達成しており（最低利用者数7,088,800人（H30）、最高利用者数（8,032,400人））、施設の計画的な再整備が公園の魅力向上と利用促進につながった。	
			H25	R2	H30			
整備に伴う取り組みの実施状況	老朽化して安全性に問題のある施設が多く、今後計画的な維持管理が求められている。また、施設の利用形態も団体中心から個人・家族中心に変わってきており、施設に求められる機能も変化している。そのため、施設のあり方や長期的な維持管理方針を整理し、計画的な施設整備に向けて取り組んでいる。							
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の再整備と並行して、使用頻度の低い施設の撤去を行うことで、維持管理コストの縮減を行う。また、使用頻度の高い施設についても、統廃合や規模の縮小、維持管理しやすい構造・材質に変更することにより、長期的な維持管理コストの縮減を図る。</li> <li>毎年頻発する豪雨災害により施設が被災し、安全な利用に支障が出ているため、早期復旧を図る。</li> </ul>							